



＜バイオ医薬・リサーチ・レポート＞

情報提供用資料

2025年12月15日

バイオ医薬・株式市場ニュースレター

■市場レビュー

2025年11月、先進国株式は横ばいの動きであった。バイオ医薬セクターの銘柄群は上昇、先進国の大規模ヘルスケアセクターをわずかに上回るパフォーマンスを示した。ポジティブな臨床試験結果をアップデートした銘柄群としては、消化管間質腫瘍領域での米コーチェント・バイオサイエンシズ(COGT)、胃食道がんにおけるアイルランドのジャズ・ファーマシューティカルズ(JAZZ)、悪性黒色腫での蘭イマティクス(IMTX)が挙げられる。

一方、ネガティブまたは微妙な報告をした企業としては、潰瘍性大腸炎での米アナプティスバイオ(ANAB)、心筋症を伴うトランスサイレチン型心アミロイドーシスでの米インテリア・セラピューティクス(NTLA)、鎌状赤血球症での米アジオス・ファーマシューティカルズ(AGIO)などが含まれていた。

規制関連として、米国食品医薬品局(FDA)から承認された新薬には、米クラ・オンコロジー(KURA)の急性骨髓性白血病に対する Komzifti、米リジェネロン(REGN)の網膜静脈閉塞症に伴う黄斑浮腫という眼の疾患に対する Eylea HD、胃食道がんに対する英アストラゼネカ(AZN)の Imfinzi が挙げられる。

FDA はハンチントン病に対する蘭ユニキュア(QURE)の遺伝子治療開発品・AMT-130(ハンチントン病向け)のフェーズ 1/2 臨床試験が承認申請のための根拠として適切であるとの見解を撤回し、軟骨無形成症に対するデンマークのアセンディス・ファーマ(ASND)の TransCon CNP に係る審査期間を 3 か月延長した。

i シェアーズ・バイオテクノロジーETF の価格推移 (2019/11末～2025/11末)



(出所) ブルームバーグのデータを基にキャピタル アセットマネジメント作成

免責事項

当資料は、情報提供を目的として、キャピタルアセットマネジメント株式会社 (CAM) が作成したものです、投資信託や個別銘柄の売買を推奨・勧誘するものではありません。また、CAM が運営する投資信託に当銘柄を組み入れることを示唆・保証するものではありません。当資料の内容は作成基準日現在のものであり、将来予告なく変更されることがあります。当資料に市場環境等についてのデータ・分析等が含まれる場合、それらは過去の実績及び将来の予想であり、今後の市場環境等を保証するものではありません。当資料は当社が信頼性が高いと判断した情報等に基づき作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。



11月のM&A(企業の合併や買収)活動としては、米メルクによる長時間作用型インフルエンザ予防薬候補をもつ米シダラ・セラピューティクス(CDTX)の買収(92億米ドル、109%のプレミアム)、米ファイザー(PFE)による肥満症治療候補品の開発を手掛ける米メッツュラ(MTSR)の買収(70億米ドル、97%のプレミアム)がデンマークのノボ・ノルディスク(NVO)からの一方的な買収提案を上回る価格で実行されたほか、米ジョンソン・エンド・ジョンソン(JNJ)による腫瘍治療薬米ハルダ・セラピューティクス(非上場)の買収(31億米ドル)、アイルランドのアルカームス(ALKS)による睡眠障害治療に注力している同国のアバデル・ファーマシューティカルズ(AVDL)の買収(24億米ドル、18%のプレミアム)、デンマークのルンドベックからの一方的な買収提案を上回る価格で行われたほか、米ディ・ワン・バイオファーマシューティカルズ(DAWN)によるがん向けの抗体薬物複合体(ADC)開発に注力する米メルサナ・セラピューティクス(MRSN)の買収(1億2,900万米ドル、182%のプレミアム)などが挙げられる。

■パフォーマンス分析

11月の絶対リターン上位	11月の絶対リターン下位		
コージエント (+147%)	消化管間質腫瘍に対するフェーズIII APEX 試験で良好な結果	ユニキュア (-59%)	ハンチントン病に対するAMT-130の申請に係るFDAガイダンスの更新
リジエネロン (+20%)	FDAによるEylea HDの承認 (黄斑浮腫という眼疾患)	テンパスAI (-13%)	株価バリュエーションへの懸念を理由にアナリストが格下げ
アムジエン (+16%)	2025年第3四半期(Q3)売上好調と通期見通しの上方修正	サミット (-5%)	肺がんに対するHARMONi-3試験で生存率恩恵が未確認であること

(出所) セクトラル アセットマネジメント資料を基にキャピタル アセットマネジメント翻訳を

■企業ハイライト：アーカス・バイオサイエンシズ

アーカス・バイオサイエンシズ(RCUS)は米国のバイオ医薬企業で、臨床試験の後期段階にあるがん治療の開発パイプラインを有している。

同社の主力製品であるcasdatifanは、腎臓がんの経口治療薬であり、米メルク社のWeliregに次ぐ開発品である。Weliregは2021年に腎臓がん治療薬としてFDAの承認を取得、年間売上高10億米ドルに迫っている。フェーズ1/1b臨床試験の中間結果はカテゴリーで最高の有効性がある可能性を示唆していた。現在進行中のフェーズ3 PEAK-1試験は、より多くの患者集団を対象としており、casdatifanは米国でピーク時に数十億米ドル規模の商業的可能性を秘めている。casdatifan以外にも、RCUSはフェーズ3試験中の2つの候補薬を保有しており、2026年と2027年に結果が出る見込みである。

2026年前半に開示予定のcasdatifanのフェーズ1/1b臨床試験のアップデートで良好な結果が得られれば、株主にとってさらなる価値が生まれるであろう。

免責事項

当資料は、情報提供を目的として、キャピタルアセットマネジメント株式会社(CAM)が作成したもので、投資信託や個別銘柄の売買を推奨・勧誘するものではありません。また、CAMが運営する投資信託に当銘柄を組み入れることを示唆・保証するものではありません。当資料の内容は作成基準日現在のものであり、将来予告なく変更されることがあります。当資料に市場環境等についてのデータ・分析等が含まれる場合、それらは過去の実績及び将来の予想であり、今後の市場環境等を保証するものではありません。当資料は当社が信頼性が高いと判断した情報等に基づき作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。



当資料は、世界バイオ医薬株式ファンドのアドバイザーであるセクトラル アセットマネジメントによる英語版ニュースレターに基づきキャピタル アセットマネジメントが翻訳作成したものです。権利上の都合などにより、省略または改変した部分があります。原資料にご興味があれば、当社マーケティング本部（marketing@capital-am.co.jp）までお問合せください。

以上

免責事項

当資料は、情報提供を目的として、キャピタルアセットマネジメント株式会社（CAM）が作成したもので、投資信託や個別銘柄の売買を推奨・勧誘するものではありません。また、CAM が運営する投資信託に当銘柄を組み入れることを示唆・保証するものではありません。当資料の内容は作成基準日現在のものであり、将来予告なく変更されることがあります。当資料に市場環境等についてのデータ・分析等が含まれる場合、それらは過去の実績及び将来の予想であり、今後の市場環境等を保証するものではありません。当資料は当社が信頼性が高いと判断した情報等に基づき作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。